

中学校第1学年
総合的な学習の時間



オンラインマップを活用し、デジタルとリアルの両方の手段で情報
収集・分析する。

中学校第1学年 総合的な学習の時間 地域の観光地の魅力を高めよう

■単元の目標

地域の課題について探究する活動を通して、地域の特性や観光客の視点を多角的に捉え、地域の魅力を高めるための方法を考えるとともに、課題の解決に主体的・協働的に取り組み、地域に貢献しようとする。

■単元の概要

地域の観光地を歩き、観光客が迷いやすい場所や案内の課題を発見する。オンラインマップを活用して情報を整理し、動線を分析しながら仮説を立て、再調査を通じて検証する。その後、案内板の設置場所や情報の示し方を検討し、地域の関係者に改善案を提案する。

■単元の指導計画（50時間）

第1小単元

「地域の課題を見つけよう」

- ・地域の観光地を歩き、観光客が道に迷っている場面を見つける。
- ・観光客が道に迷った原因について考える。

第2小単元

「課題を深く分析しよう」

- ・現地調査で得た情報をオンラインマップにピンで記録する。
- ・観光客の動線をオンラインマップで可視化し、迷いやすいエリアを推定する。
- ・再び現地を訪れ、観光客にヒアリングする。

第3小単元

「改善案を考え、提案しよう」

- ・案内板の設置場所を全員で検討する。
- ・オンラインマップを活用したプレゼン資料を作成し、地域の関係者（観光協会、商店街の人々）に対して提案する。

■小単元の概要

地域の観光地を歩き、観光客が道に迷っている様子から、現地で得た気づきをもとに、その原因を考える。

迷っている観光客を見かけた場所や案内板がない場所、わかりにくい案内板のある場所など、現地調査で収集した情報をオンラインマップに記録する。また、観光客の動線を可視化する。案内の不足や迷いやすいエリアを推定し、効果的な案内表示の在り方について考える。その後、観光客や地域の人にヒアリングを行い、自分たちの考えが妥当かを検証し、新たに見えてきた課題を整理する。

オンラインマップ上で共同編集し、案内板の設置場所や情報の工夫を全員で検討する。検討した改善案をプレゼン資料としてまとめ、地域の関係者に提案し、フィードバックを受けながらブラッシュアップする。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第2小単元）

【学習活動の場面】

生徒たちは、現地調査で収集した情報をもとに、オンラインマップの共同編集機能を使って観光客の動線や迷いやすい場所を整理した。教師は、「観光客が迷いやすい場所に共通する特徴は何でしょうか？」と問いかけ、生徒たちが気付きを深められるように促した。

【子供の「深い学び」の姿】

最初、生徒Aはオンラインマップに次のような記録を残した。
A「観光客がこの道で迷っていた。近くに案内板がないからかもしれない。」

その後、クラウド上で他の生徒が記録したコメントに目を向けた。「観光客が迷った別の場所をストリートビューで確認したら、似たような道が続いていて曲がる場所が分かりづらい。」

「地元の人に聞いたら、『観光客から道を尋ねられることが多い』と言っていた。」
「交差点付近や曲がるポイントに日本語だけではなく、外国人にも分かる案内がないと迷いやすいことが分かる。」

Aはこれらのコメントを読み、現地を確認したところ、観光客が迷う要因は単に案内板の有無だけではなく、「曲がる場所が分かりづらい」「外国人にも分かりやすい情報がない」といった要素も関係していることに気付いた。そこで、オンラインマップの記述を次のように修正した。

A「ただ案内板がないだけでなく、観光客にとって分かりやすい目印がないと迷いやすい。英語やイラストの案内があれば、もっと分かりやすくなるかもしれない。」

【当該指導での「深い学び」】

Aは、観光客が迷った原因を探る中で、単に「案内板がない」ことだけでなく、「観光客が曲がる場所等に外国人にもわかる目印がないと迷いやすい」ことに気付いた。これによって、他の生徒の意見やオンラインマップの情報、ヒアリング結果を照らし合わせながら、「どのような案内があれば迷いにくくなるのか」という観光客の視点を意識したより効果的な解決策を考えることができている。



■指導上の工夫とICTの利活用

① オンラインマップで共通する特徴を見つける。

* オンラインマップ上にピンを立て、迷いやすいポイントや案内板の有無を分類することで、データを整理・分析しやすくする。

② リアルとデジタルを往還しながら分析を深める。

* 現地調査を実施した後、オンラインマップにデータを記録し、仮説を立てる。その仮説をもとに、再度現地でヒアリングを行い検証することで、質の高い探究活動を実現する。

③ 生徒同士がオンライン上で意見を共有・交換できる環境を整える。

* オンラインマップのコメント機能を活用し、各自が記録したデータに他の生徒が意見を書き込めるようにすることで、共同編集を通じて新たな視点を得られるようにする。

【活用したソフトや機能】

Google Map（オンラインマップ）

学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第4章 総合的な学習の時間

第1 目標

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

出典：中学校学習指導要領P159

学習指導要領解説 総合的な学習の時間編

第2章第2節 2 総合的な学習の時間で育成することを目指す資質・能力

課題の解決に向けては、自分で情報を集めることが欠かせない。自分で、何が解決に役立つかを見通し、足を運んだり、情報手段を意図的・計画的に用いたり、他者とのコミュニケーションを通したりして情報を集めることが重要である。